

県岐商 だより

No. 82

THE KEN-GI-SHO SENIOR-HIGH PRESS

○発行所 岐阜市則武新屋敷 岐阜県立岐阜商業高等学校PTA <http://www.kengisho.ed.jp/>

岐商祭 2023.10.26



校訓「不撓不屈」どんな困難に出会ってもひるまず、くじげず最後までやり遂げる。この校訓をまさに具現化するかのどく生徒たちは毎日必死に学校生活を送っている。4月に県岐商に赴任してまず感じたことは、そんな生徒のひたむきさ、教員のパワー、そして学校全体の強いエネルギーであった。

長い教員生活の中で多くの学校に赴任してきたが、今まで味わったことのない独特の雰囲気を感じた。外から見てきた県岐商のイメージや雰囲気と実際に赴任して中で感じる県岐商は良い意味で私の想像をはるかに超えるものであった。

私自身、専門教科は保健体育であり、商業高校への赴任は初めてであったが、授業や学校行事、各種商業教育推進事業は見るものすべてが非常に新鮮で興味深いものであった。また、支部ごとに組織されたPTAや「城北会」などの強力な支援体制や同窓会組織である「凜心会」などの絶大なバックアップ体制は本校の学校運営の礎となり、県岐商をがっちり支え、さらにパワーアップさせていると強く感じた。私は県岐商の伝統の深さとこの支援体制の構図を見た時、県岐商が「すごい」と言われるその理由がわかった気がした。

さらに本校の教育方針の3本柱である「商業教育・部活動・進路達成日本一」を目指し、各科ごとにそれぞれプログラムされている3年間の学びは、非常に特色（独自性）があり、県内もしくは全国に自信をもって発信できる教育プログラムであると感じている。特に商業教育の推進において、生徒一人ひとりが株主となり、株式会社 GIFUSHO を経営する中で地域や企業とコラボし、商品開発や販売

を実践していく取組みは非常に斬新である。

また、各種民間企業と連携し、経営者や企業人の生の声を取り入れながら展開される「探究」の授業等は生徒にとって大変刺激的であり、多様な価値観の育成につながっている。そして、今このような県岐商の教育の土台が成り立っているのは、開校以来、多くの同窓生や教員の先輩たちが幾度の挑戦と失敗を繰り返しながら築き上げてきた努力の賜物であることは間違いない。

私の好きな言葉の1つに「僕の前に道はない 僕の後ろに道はできる」がある。これは詩人・高村光太郎の詩「道程」の冒頭の言葉であり、私にとって人生の節目節目で思い起こす大切な言葉である。初めから自分の生き方や人生は決定しているものではなく、自分から一歩を踏み出すことによって、生き方や新しい道が自然と開けていくというメッセージだと思っている。考え

過ぎて悩むより、失敗を恐れて何もしないより、行動する勇気をもって、とにかく1歩前に踏み出していくことで新しい自分と出会えるのだと私は考える。初めから自分の前に道が開かれているのではなく、半歩でも1歩でも踏み出してこそ初めてその後ろに自分が歩いた貴重な道ができる。生徒諸君においては、そのかけがえのない自分の道をこの県岐商でしっかり創ってほしいと考える。

来年度、本校はいよいよ創立120周年という大きな節目の年を迎える。ここまで県岐商を支え続けていただいた多くの関係者の方々に感謝の気持ちをもちながら、バージョンアップしている「令和の県岐商」の姿を胸を張って披露できるよう今後もしっかりと精進していきたい。



～僕の前に道はない 僕の後ろには道はできる～

教頭 早矢仕 賢治



目次

～僕の前に道はない 僕の後ろには道はできる～(教頭) ……1	PTAバザーを終えて……………4
全国PTA連合会大会に参加して(PTA副会長) ……2	テニスを通して思うこと……………4
PTA大学見学を終えて……………2	編集後記(研修活動委員長) ……4
PTAの広場(各学年会員)……………3	

全国PTA連合会大会に参加して

PTA副会長 井上 泰孝



8月25・26日と全国PTA連合会大会参加のため、宮城県仙台市に行ってきました。ちょうど仙台育英高校が甲子園で準優勝をした翌日ということもあり、街はお祝いムード一色でした。

まず、今回参加した全国PTA連合大会とは何かと申しますと、毎年8月下旬に行われる、公立高校の校長先生とPTAの代表が参加する研修会のような会です。なんと、全国から1万人が参加する大規模なイベントなのです。今年は宮城県仙台市での開催で我々も現地に行って規模の大きさに驚きました。

仙台市内の6会場で様々なイベントが開催され、その中で我々が参加したのは第2分科会の「AI時代に求められる学びとキャリアデザイン 自己改革と技術活用の両立」というテーマの講演でした。

キャリアデザインというのは、『自分自身が将来どのような仕事・働き方をしたいのかビジョンを明確化したうえで行動に移すこと』を意味するのですが、分かっているけど一番難し

いところですよ。

これから皆さんは、それぞれの進路へ向かいますが、まずはいろいろなことに興味をもってチャレンジしてみてください。それで違うと思ったら次のチャレンジをすれば良いと思います。

人生の3分の1は仕事です。興味のあることに挑戦してほしいですね。まだ多くの方が将来、何をしたらよいか分からないでいると思います。まずは興味のアンテナを張っておいてください。それだけで気になってきて段々と興味が湧いてきますので。

これからAIの更なる進化で、仕事のスタイル自体が今までと変わってきます。不要になってくる仕事や業務、人との接し方も変わってくると思いますが、最終的には、人と人との繋がりです。これは、今も昔もこれからも変わらないものです。信頼される大人になれるよう、日頃の立ち振る舞いも気にかけておいてください。岐商生の皆さんでしたら大丈夫です。

余談ですが、翌朝、早く起きて楽天スタジアムから仙台育英高校など市内を10キロほど走って散策してきました。出張などで時間のないときにはお勧めです。私のような年代になってからでもよいのでやってみてください。

あっという間に私もPTAになって3年目となりました。皆さんの高校3年間もあっという間に過ぎますが、社会人になるとその感覚がさらに早く感じるものです。残り僅かな高校生活の1日1日を楽しんでください。



PTA大学見学を終えて

進路指導委員長 鷲見 真弓

6月16日に進路指導委員会によるPTA大学見学会が行われました。保護者と先生方とバス2台で行ってまいりました。午前は愛知淑徳大学の長久手キャンパスを見学後、学食にて昼食をとり、午後は名城大学天白キャンパスを訪問しました。

愛知淑徳大学では、最初にシアタールームで大学のスタッフの方から学校説明を受けた後、少人数のグループに分かれて大学内の見学をしました。学園創立120周年・大学創立50周年ということで、その記念事業の一環として長久手キャンパス内の再整備と共に新学部・新学科設置のための大規模な工事が行われていました。9学部を擁する総合大学ということで、色々な施設がありました。どの施設も整備されており、とても魅力的でした。特に併設されているクリニックは、より臨床現場に近づくための体験的学習が行われているということで興味深かったです。眼科・耳鼻咽喉科・心療内科・内科などがあり、在学学生は診察料の補助まであるそうです。

学食ではボリューム満点のランチを頂きました。学生たちは仲間たちと食事を楽しんだり勉強をしたり動画を楽しん



だり、各々リラックスして過ごしていました。

名城大学では、スタッフの方に大学説明を受けた後、少人数に分かれて学生に施設を案内して頂きました。体験談や、

利用するとよい制度なども教えて頂きとても参考になりました。個人の時間割を管理できるアプリがあったり、様々な資格支援のためのサポートが充実していたり、all English で英語が学べる施設があり、ネイティブの先生と関わったり外国の仲間と交流ができたりと、どの施設も魅力的でした。

就職支援も充実していました。キャリアセンターというところがあり、入学後学生には就職支援グループ職員の担当者が決まり、個別指導担当制で4年間を通して就職サポートが受けられるそうです。就職に関する資料や書籍も充実していました。

図書館もとても広く、内容も充実していました。学生たちは授業までの空いた時間などを利用して、読書や勉強をしていました。

どちらの大学も様々な工夫と環境作りがされていました。大学選びは子どもだけでなく、保護者も悩むと思います。じっくり施設を見学できる機会はなかなかないので、ぜひ来年度も多くの方に参加して頂けたらと思います。

最後に見学先の計画や引率をして下さった先生方、貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。



最高の笑顔で！

1年生会員 藤根 由香里

息子は小さな頃からのんびり屋のマイペース。みんなより1テンポ、いや3テンポ位のんびり君。でも、大好きなことに向かう集中力は小さな頃から凄かった。

そんな息子の『県岐商に行く!!』との決心を聞き、嬉しかった反面、当時の成績、県岐商という厳しい中でやっていけるのか…。私の不安をよそに心を決めた息子の快進撃は本当に凄かった。心揺らぐことなく思いを貫き、私の自慢の母校 県岐商へ入学!!

喜びも束の間、大激震!! 息子が選んだ部活動は吹奏楽部! 各方面で大活躍し名を刻んでいる岐商吹部。岐商吹部ファンとしての喜びと、楽器未経験なのんびり君がやっていけるだろうか…。またしても心を決めた息子に、私も3年間息子と共に走ろうと心を決めました。担当はチューバという重さ10Kg程もある大きな楽器で、息子の体格にピッタリ。大きな楽器を抱え、のんびり君はのんびりなまま、毎日生き生きと励むことができています。これもすべて、楽譜を読んだこともない息子に懇切丁寧に教えてくださる先輩方、朝から晩まで休みなくご指導くださる諸先生方、素晴らしい経験を共に支え合える仲間たち、親さん方に囲まれているお陰です。

マーチング全国大会金賞を目指し、まだまだ輝きを増し続ける県岐商吹奏楽部。その一員である息子の成長も本当に楽しみです。

入学式で偶然再会した旧友とは、今では共に吹部保護者として毎日のように連絡を取り合い励まし合っています。伝統ある岐商魂を親子で継承していけることを誇りに思います。

まさかの決断が、県岐商ライフをさらに彩り豊かなものにし私の毎日までも鮮やかにしてくれています。ありがとうございます。今ここが全て! 胸を張って! 最高の笑顔で!

息子の夢

2年生会員 森 美菜子

小学校に上がるとすぐ「野球がやりたい!」と言いました。兄がサッカー、姉がハンドボールをやる中、息子は野球を選びました。

中学は県岐商のOBのコーチがたくさんいらっしゃるクラブチームに行きたいと言いました。

その頃から「県岐商に入学して鍛冶舎監督の元、野球がしたい!!」という夢ができたと思います。

その為に塾と家庭教師、本当に頑張りました。無事合格でき練習が始まりました。県岐商のマウンドで初めて投げたとき、「これまでの中で一番頭が真っ白になった」と、後ろ向きなことをあまり言わない息子が、高校での野球の厳しさを痛感したと話してくれました。

監督との野球ノートが始まり、私は内緒で見のですが、本当に細かく息子のためになることが書かれていて感動しました。

ただ見守ることしかできない母ですが、息子の夢「鍛冶舎監督と甲子園に行く」と県岐商野球部100周年に華を添えられるようサポートしていきたいと思います。

PTA
の
広場

YELL

3年生会員 堀 裕美

「県岐商に送迎するのもあと何回かな

あ。」最近、娘とこんな会話をすることが増えてきました。息子が在籍していた期間も合わせて6年間。送迎で忠節橋を眺めることも無くなるのかと思うと既に寂しく感じています。

兄が通っているときに、時折、渡り廊下で練習している応援部を見たことがあり、娘に入部を勧めたこともありましたが、まさかその一員になろうとは思っていませんでした。厳しい規律の中で、常に応援部員でなければいけないプレッシャー、先輩との厳しい上下関係に、夏までは毎日泣いて帰ってきて、その度に聞きなだめるといった日々でした。それが一変、甲子園での応援に感動して顔つきも態度も変わっていく娘に、頑張れ!とエールを送ることしかできませんでした。しかし、2年生で代替わりした一週間後、最初の行事の信長まつりではキムタクに会う機会に恵まれてMCを何度も練習したこと、二度甲子園で応援できたことなど、数々の貴重な体験をさせていただき親子共に高校生活を楽しむことができました。

また、この夏にはコロナ禍で延期になっていた海外研修にも参加することができ、大学進学後の目標も明確なものになったようです。

「進学校に行かなくてよかったあ。資格も取れたし、部活も頑張ったし、本当に県岐商に入ってよかった!」という晴れやかな表情の娘の横で、にやりと笑う私がいいます。県岐商生の親でいられる残りの時間を、娘と共にもう少し楽しもうと思っています。



PTAバザーを終わって 特別活動委員長 濱田 美姫

10月26日、岐商祭が行われました。コロナ禍の影響でPTAバザーが開催されるのは4年ぶりになります。

PTA役員12名、特別活動委員15名、お手伝いに来てくださった保護者の方々13名と、総勢40名で開店いたしました。今回は生徒による食品の模擬店はなく、PTAバザーのみの販売でした。事前予約制でしたが当日も多少買えるように数を調整しました。商品はコロナ前と変わらず、カレーライス、焼きそば、みたらし団子、フランクフルトを用意しました。中でも焼きそばは一番人気で、少々手間がかかりますが、PTA役員の方々が休む間もなく調理していただけたので、滞ることなく提供することができました。

当日は天気にも恵まれ保護者の皆さんも多数ご来校され、PTAバザーにも寄っていただけました。お陰様で、焼きそばは用意していた数を完売し、他にもたくさん買っていただけました。

3年生の1クラスが学級閉鎖になってしまったのは残念

でしたが、生徒の皆さんもクラスTシャツなどを着用して笑顔で楽しんでいる様子がこちらにも伝わってきました。

今回、このようなPTA活動を通して学校での子供の成長を感じることができましたし、たくさんの人と繋がることもできました。

最初は、何年もPTAバザーをやっていなかったこともあり引継ぎなどもない状態で、想像することもできず、正直不安しかありませんでした。しかし、PTA会長さんや役員の方、先生方でコロナ前のPTAバザーを知っている方に段取りや準備をしていただけだったので、当日も問題が起きること無く無事に終わることができました。



最後になりますが、ご協力いただきました企業各位に感謝申し上げますとともに、運営にご尽力いただきました先生方、PTAの皆様、本当にありがとうございました。来年度も是非とも皆様ご協力をお願いいたします。

テニスを通して思うこと

去年、2年生で初めて国体に出場しました。結果は、ベスト16で敗退という、とても悔しい思いをして終わりました。そして今年、今度こそは絶対に優勝する!という強い意気込みで大会に臨みました。今まで数多くの試合に出っていますが、やはり国体ともなると雰囲気違います。初戦は緊張のあまりラケットを振り切ることができず、もどかしい思いをしました。試合を重ねるごとに緊張もほぐれ調子を取り戻すことができました。ベスト4まで勝ち進み、準決勝ではダブルスまで持ち込みました。タイブレーク、5-6と相手のマッチポイント!なんと、そこで自分がミスをしてしまい優勝を掴むことは叶いませんでした。あの瞬間は一生忘れることはないと思います。しかし、岐阜県を代表して戦えたことは私の誇りです。

高校1年からずっとシングルスとして戦ってきました。勝てた試合もあれば、負けてしまった試合もあります。その中で自分の弱点を見付け、それを克服できるまで練習を繰り返しました。正直、途中で放り出したくなる時もあります。そこを思い留まり食らいつく、今ではこの粘り強さが自分の強みになっていると思います。

硬式テニス部 可児 優希

テニスを始めたのは2歳上の兄が地元のチームでテニスをやっていたからです。コートの中の兄は格好良く、兄のようになりたい!と4歳から始めました。小学3年生までは遊びの延長でした。試合に勝てるようになってからは真剣に取り組み始め、どんどん結果を出せるようになりました。中学ではクラブチームに所属し、高校進学の時、自分を高めるために一番ふさわしい学校は!と考え県岐商を選びました。いつも高い目標に向かって懸命に努力する仲間刺激されここまでできました。

来年からは岐阜の地を離れることとなりますが、今の自分があるのは県岐商での日々があったからです。今後はテニスの腕に更に磨きをかけ、指導者になりたいと考えています。

その日が来るまで経験を積み、一回りも二回りも大きく成長したいと思っています。



校誌「岐商」のホームページを開設しました。QRコード、又は下記アドレスからアクセスして下さい。

●<https://gishogifushogyou.wordpress.com>
●パスワード:Gisho

*「岐商だより」は県岐商ホームページでもご覧いただけます。



「県岐商だより」第82号をお読みいただきありがとうございます。酷暑の余韻が残る暖かい日が多かった10月。3年生にとっては最後の岐商祭が行われました。今年の文化祭は、念願であったPTAバザーを開催させていただくことが叶い、カレーや焼きそば等の販売ができました。また、保護者の方も来校いただき、各クラスの催し物を見て楽しまれ沢山の笑顔と笑い声がありました。しかし季節外れのインフルエンザの猛威、新型コロナウイルスが少しながら存在している現在、心穏やかに過ごせない日々もありました。来年度こそは、更に充実した伝統ある岐商祭になるよう、皆様のご理解とご協力をよろしく願っています。

編集後記
研修活動委員長
村木 みどり